



青森労災病院 理念 「やさしく、あたたかい病院」

- ・患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を行います。
- ・医療の質の向上をめざします。
- ・勤労者医療・地域医療連携等における社会的責任を果たします。



医師の異動について

7月以降の医師の異動を下記のとおりお知らせいたします。

採用

○10月1日付け

整形外科医師 山内 大生

ひとこと：平素より大変お世話になっております。

この度、10月より青森労災病院に勤務となりました。

至らぬ点もあるかと存じますが、何卒よろしく願っています。

外科医師 村田 賢祐

ひとこと：青森労災病院外科に着任いたしました村田 賢祐と申します。

日々学びながら、八戸市という新しい街での生活を楽しまたいです。これからよろしく願っています。

○7月18日付け

臨床研修医 佐々木 奈美

退職

○9月30日付け

整形外科部長 千葉 大輔

外科医師 谷 建吾



治療抵抗性高血圧 …に対する取り組み



糖尿病内分泌センター長 崎原 哲

3系統以上の降圧剤（利尿剤を含む）を用いても十分なコントロールが得られない状態を**治療抵抗性高血圧(resistant hypertension;RHT)**と言います。この状態は脳・心血管障害や腎不全など、いわゆる心血管系リスクが高まっているため、更なる治療強化・介入をどう行うかが非常に重要です。

実は近年、RHTの約20%に原発性アルドステロン症が含まれていることが判ってきました。この疾患に伴う高血圧は、しばしば難治性である一方、原疾患の治療により劇的な降圧が期待できます。RHTによる脳・心血管障害や腎不全の発症を抑制するために、当院では、この「**原発性アルドステロン症(PA)の診断と治療**」について、積極的に取り組んでいます。

PAの診断には、日常診療における**スクリーニング検査**と、内分泌専門施設における数種の**内分泌負荷試験**が必要です。また治療方針の決定には副腎静脈サンプリングによる**病変の局在診断**が不可欠です。つまり、数多くの高血圧患者を診る医療機関と内分泌専門施設の連携が必要になります。

当院には内分泌代謝内科、放射線科、泌尿器科の専門医が常勤しており、PAの診断から治療までを一貫して診療することができます(*)。

高血圧の日常診療において、PAが疑われる患者様がございましたら、是非とも一度当科にご紹介いただければと思います。PAのスクリーニング検査は簡便です。安静採血(可能なら20分安静臥床)で、レニン活性(PRA)とアルドステロン(PAC)を測定するだけです。**PACが120pg/ml以上で、PAC/PRA(ARR)が200以上であれば、PAの可能性が極めて高い**と考えられますので、別添した情報提供書に必要事項をご記入いただき、当科までご紹介下さい。当院で一貫して精査を行い治療方針を再検討・再コントロールした後、再び貴院に逆紹介いたします。

PAのスクリーニング検査が未施行、あるいは上記基準を満たさなくても、血圧コントロールに難渋されている患者様がございましたら、是非ご紹介ください。

日頃より多くの高血圧患者の診療にあたる先生方との連携により、RHTに悩む患者様を減らしたいと考えています。ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

***当センターは、青森県南地域では唯一、副腎静脈サンプリングによるPAの局在診断を行っている内分泌専門施設です。**

H25年～H29年の4年間で約120例に対し原発性アルドステロン症の入院精査を行い、約80例に対し副腎静脈サンプリングを施行しました。そのうち約30例は、片側性病変が確認され、病変側の副腎摘除により治癒に至りました。残りの約50例も、完全治癒には至っていないものの、抗アルドステロン剤の使用により良好なコントロールを得ています。

平成 年 月 日

診療情報提供書
(原発性アルドステロン症・治療抵抗性高血圧)

紹介先医療機関名： 青森労災病院

担当医師： 糖尿病内分泌センター 外来 崎原 哲 宛

紹介元医療機関の所在地：

名称：

電話番号： FAX：

診療科名：

医師氏名： 印

患者氏名： 殿 性別： 男・女

患者住所： 電話番号：

生年月日： 明・大・昭・平 年 月 日 () 歳 職業：

【傷病名】

- 原発性アルドステロン症(疑い) 治療抵抗性高血圧
 その他 内分泌疾患 ()

【紹介目的】 上記の精査・加療

【既往歴及び家族歴】

【病状経過】

【検査結果】

血漿アルドステロン (PAC) pg/ml
血漿レニン活性 (PRA) ng/ml/hr
アルドステロン/レニン 比 (ARR)

【処方】(PAC 採血時と異なる場合は、その旨記載してください)

【備考】

原発性アルドステロン症

…が疑われた患者様へ

原発性アルドステロン症とは、副腎という臓器から分泌される“アルドステロン”という名前のホルモンが過剰になり、高血圧や動脈硬化を来す病気です。

聞き慣れない病気かと思いますが、実は高血圧患者様の約10%は、この病気が原因であることが判ってきました。この病気の場合、一般的な高血圧症の患者様に比べ血圧の調節が難しい一方で、副腎の治療により高血圧が完治する可能性もあります。本症が疑われた場合は、通常の降圧剤を漫然と続けるのではなく、一度精密検査を受け、治療法について再検討してみてもはいかがでしょうか？

原発性アルドステロン症の診断に必要な検査はやや複雑ですので、本症が疑われた患者様は専門の病院での検査が必要になります。青森労災病院ではかかりつけの先生と連携しながら、貴方にとって最適な治療法を探すお手伝いをします。

原発性アルドステロン症 診断の流れ

Step1. 高血圧の原因を調べます

外来で採血。血圧調節に関わるホルモンを調べます。

採血は、30分ほど横になって身体と気持ちを落ち着かせた状態で行います。



Step2. 外来にて負荷試験を行い、診断の確定と副腎の形態を評価します

数種の負荷試験（検査薬を投与し、ホルモン値の変動を採血で確認する検査）を行いホルモンの異常があることを確認します。（2～3時間かかります）高血圧の原因になるホルモンは副腎から過剰に産生されることが多いため、造影CTで副腎の形や腫瘍の有無、さらに血管の走行を確認します。



Step3. 入院の上、病状の程度を評価し、ホルモン産生の部位を同定します

カテーテルと呼ばれる管を副腎の血管まで挿入し、左右の副腎近くから採血します。左右の副腎で、ホルモン値に差があるか否か、つまりどちらの副腎でホルモンが産生されているかを評価します。入院期間は3～5日（必要になる追加検査によって変わります）。



Step4. 病気の部位を同定できれば手術を行います

過剰にホルモンを産生している副腎のみを取り除く手術をします。10日間ほどの入院が必要です（手術は泌尿器科で行います）。



*病状によって、検査の流れや所要日数は変更される場合がありますのでご了承ください。



青森労災病院 FAX・電話による診療予約のご案内

当院では、紹介患者さんの待ち時間短縮を目的に、FAX・電話による診療予約を実施しております。

◎専用FAXによる予約方法

予約受付時間：午前8：30～午後9：15（ただし、状況によって対応します。）

予約FAX番号：0178-33-1690（地域医療連携室直通）

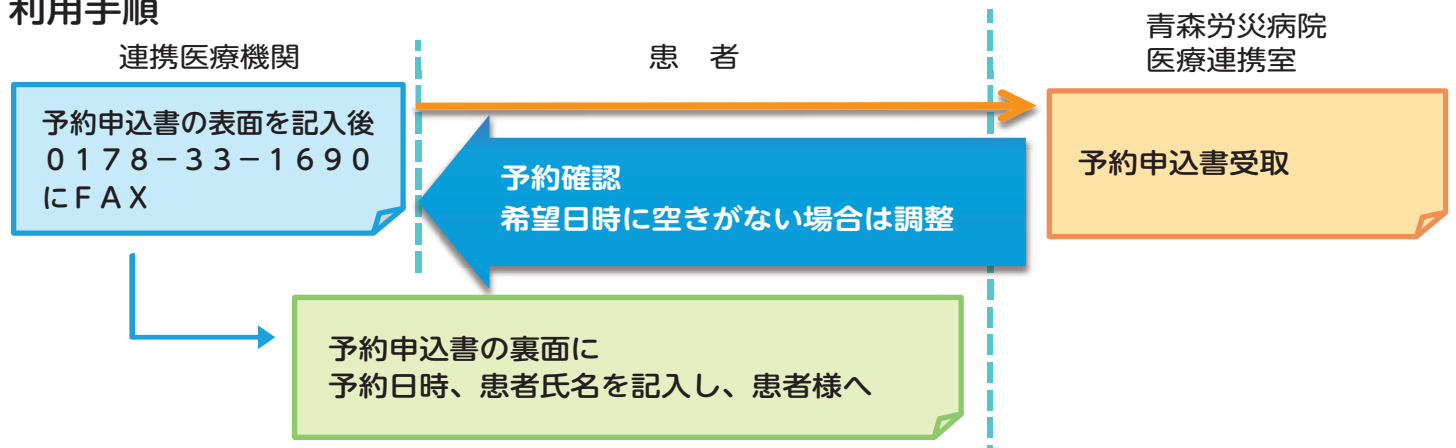
予約申込書：当院ホームページ\各部門のご紹介\地域医療連携室のページからダウンロード可能です。

郵送またはFAXでもお送りしますので、ご希望の際はご連絡ください。

※予約の申込につきましては、診療日前日までとなっております。

当日の予約は出来ませんのでご了承ください。

利用手順

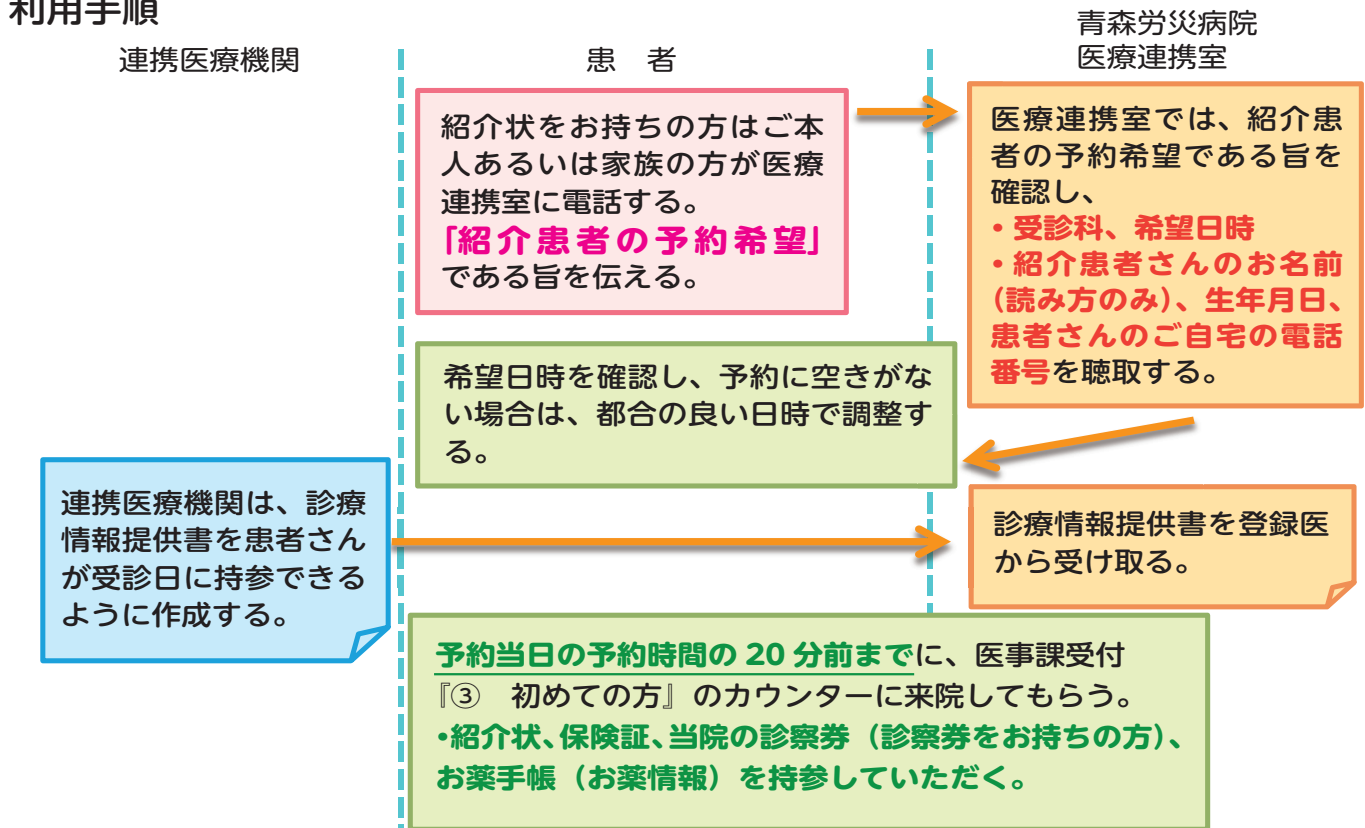


◎電話による予約方法

予約受付時間：平日 午前8：30～午後5：00

予約電話番号：0178-33-1551 内線2515

利用手順



※FAX予約では、事前にカルテ作成を行います。電話予約の場合、当日のカルテ作成となりますので若干お時間を頂きます。

予 約 申 込 書

(ふりがな)			性 別	旧 姓
患者氏名	(姓)	(名)	男 ・ 女	
生年月日	明治・大正 昭和・平成	年	月	日 歳
住所	〒 — 電話番号 — —			

受診希望日時	平成	年	月	日	曜日	時	分
--------	----	---	---	---	----	---	---

受診希望科(○をつけてください)		
<input type="checkbox"/> 循環器・呼吸器内科(第一内科)	<input type="checkbox"/> 整形外科	<input type="checkbox"/> 眼科
<input type="checkbox"/> 消化器内科(第二内科)	<input type="checkbox"/> 形成外科	<input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科
<input type="checkbox"/> 生活習慣病センター長	<input type="checkbox"/> 脳神経外科	<input type="checkbox"/> リハビリテーション科
<input type="checkbox"/> 糖尿病内分泌センター(第三内科)	<input type="checkbox"/> 心臓血管外科	<input type="checkbox"/> 産婦人科
<input type="checkbox"/> 神経内科	<input type="checkbox"/> 皮膚科	<input type="checkbox"/> 麻酔科
<input type="checkbox"/> 外科	<input type="checkbox"/> 泌尿器科	<input type="checkbox"/> 健康診断部
<input type="checkbox"/> 小児科※	<input type="checkbox"/> 放射線科※	<input type="checkbox"/> 歯科口腔外科※

※ 小児科・放射線科・歯科口腔外科への予約は、直接診療科外来へ電話予約してください。

※ 循環器内科・神経科及び麻酔科は現在休診となっております。

主保険	保険者番号		区分	本 人 ・ 家 族
	記号・番号		資格取得日	
後期高齢者 受給者証・ 公費医療	市町村・負担者番号		負担割合	割
	受給者番号		資格取得日	

※ 保険証のコピー貼付も可能です。

医療機関名	
所在地	
電話番号・FAX番号	
送信担当者名	